

# 八幡平市



県の戦没者慰霊塔「岩手の塔」の前で記念撮影する参加者

## 名護市と友情をはぐくむ市民ツアー初開催

市の友好都市である沖縄県名護市の市民の皆さんと友情をはぐくみ、沖縄の青い海と空、満開の桜、輝く太陽の下で感動体験を味わう市民ツアー「名護市交流の翼」の一行は1月30日から2月2日までの4日間、名護市などを訪問しました。

市民44人が参加。市役所での出発式を行った後、名護市に



名護市の桜は2月上旬が見ごろです

向け仙台空港を飛び立ちました。名護市では、第35代名護さくら女王発表会や名護さくらまつりに参加し、名護市民との友好を深めました。また沖縄県の名勝に指定されている万座毛や、岩手県の戦没者慰霊塔のある摩文仁の丘など12カ所を見学しました。

名護市とは、旧松尾村が同じ桜をシンボルとしていたことが縁で、昭和63年1月に友好都市提携を締結。長年にわたり観光振興や青少年育成などさまざまな面で交流を深めてきました。八幡平市に合併後の19年1月27日に新たに両市長が締結書に署名し、友好を誓っています。

松尾地区公民館の3回目の手編み講座は1月27日、同公民館で行われました。

佐々木創子さん(松尾寄木)

が講師を務め、編み目の増やし方などを学びながら、ニット帽子を作りました。参加者は「いろいろな人と話しができたり、新しいことを学ぶことができて楽しい」と笑顔で作業を進めていました。

この講座は3回シリーズで行われ、前回までにマフラーなども作っています。



講師の編み方に注目する参加者

## 松尾地区公民館で手編みのぬくもりを学ぶ



笑顔でエクササイズに取り組む参加者

自宅でできる手軽な運動を学び、運動不足やメタボリック症候群の解消を目指す「知っ得メタボ教室」は2月6日、畑公民館で行われました。

地域から20人が参加。運動実践指導士の村木慎子さんから、ミニバランスボールを使って座ったままできるエクササイズなどを学びました。無理なく簡単にできるエクササイズに、参加者は笑顔で取り組んでいました。

## 手軽な運動で解消するメタボリック症候群